

地域産業の人材確保に向けて

令和8年2月9日

北海道開発局 釧路開発建設部

地域連携課長 井川 大輔



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画



北海道総合開発計画は、北海道の資源・特性を活かして
我が国が直面する課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展
を図るため、国が策定(閣議決定)する計画です。

1951	1957	1962	1970	1978	1988	1998	2008	2016	2024
第1次	第2次	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
資源開発	産業振興	産業構造の高度化	高生産・高福祉社会の建設	安定性のある総合環境の形成	我が国の長期的発展への貢献・力強い北海道の形成	北海道の自立、恵まれた環境・資源の継承等	開かれた競争力ある北海道、持続可能で美しい北海道の実現等	農林水産業、観光等を担う「生産空間」の維持	食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道の実現、生産空間の維持・発展
-	-	拠点開発の推進	先導的開発事業の推進、中核都市圏の整備と広域生活圏の形成	地域総合環境圏の展開	重層ネットワーク構造の形成と都市田園複合コミュニティの展開	地域の創意と工夫、適切な支援	多様な連携・協働、新たな北海道イニシアティブの発揮等	产学官民金連携による重層的なプラットフォームの形成、「北海道イニシアティブ」の推進、戦略的な社会資本整備等	多様な主体による「共創」等
600万人	550万人	586万人	600万人	620万人	620万人	580万人	-	-	-
-	7.1%	8.8%	9.6%	7.0%	4.25%	おおむね全国と同程度	-	-	-
4,335億円	6,600億円	3.3兆円 行政投資0.94兆円、 政府企業、民間企業等投資2.36兆円	20.75兆円 行政投資8.55兆円、 民間企業等投資12.2兆円	47.1兆円 行政投資18.1兆円、 民間企業等投資29兆円	60兆円程度 内広義の国土基盤投資40兆円程度	-	-	-	-

近年の社会環境の変化

2022年 ロシアのウクライナ侵攻

⇒ 食料安全保障問題

2020年 新型コロナ感染症

⇒ 観光・日本経済の回復

2020年 カーボンニュートラル宣言

⇒ 再生可能エネルギー

北海道のポテンシャル



- 全国約24%の食料生産(カロリーベース)
- 生産量全国一の農畜産物・水産物
小麦、ばれいしょ、たまねぎ、生乳等
ホタテ、タラ、サケ・マス、ホッケ等



- 来道外国人旅行者数164万人増
(感染症拡大前の直近5年間で
137万人から301万人に)
- 都道府県魅力度 15年連続全国一

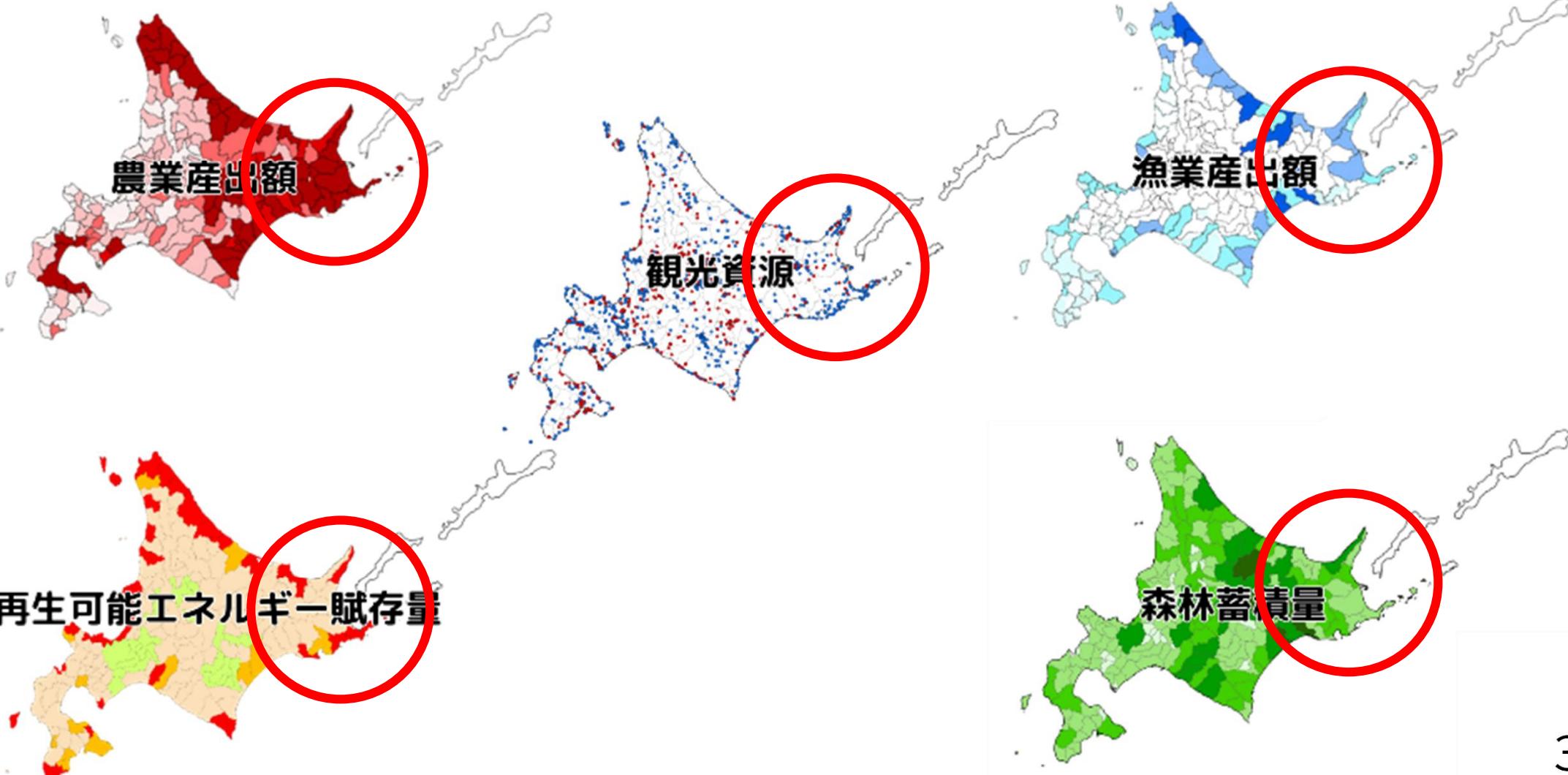


- 全国一の再生可能エネルギー賦存量
洋上風力、陸上風力、太陽光、
バイオマス、中小水力
- 高いCO₂吸収力
全国の森林面積の約22%

食料安全保障、観光立国の再興、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて
「他で代替できない北海道の価値」を最大化し、現下の国の課題解決を先導します。

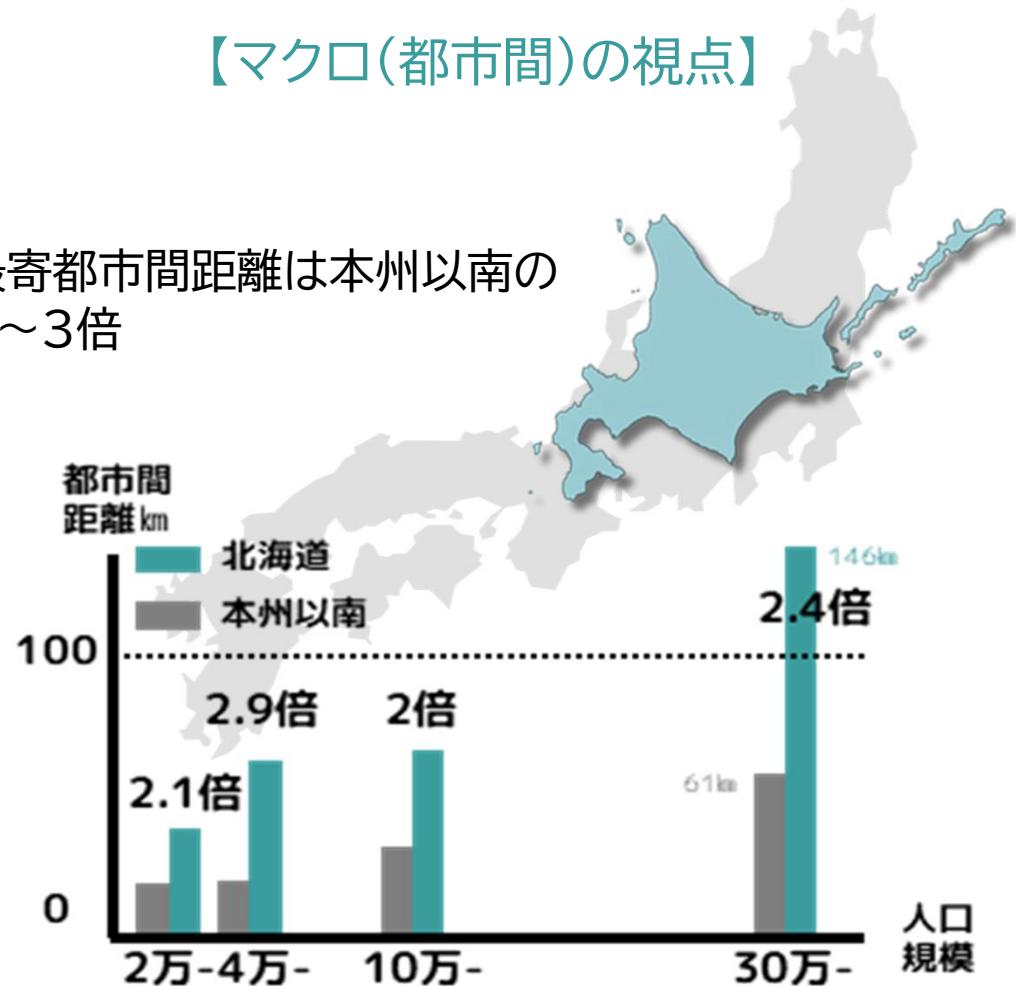
高い食料供給力、魅力的な観光資源、豊富な再生可能エネルギーなどの、北海道の価値を生み出す地域**「生産空間」**は主に**地方部**に存在しています。

● 北海道の価値を生む「生産空間」の分布



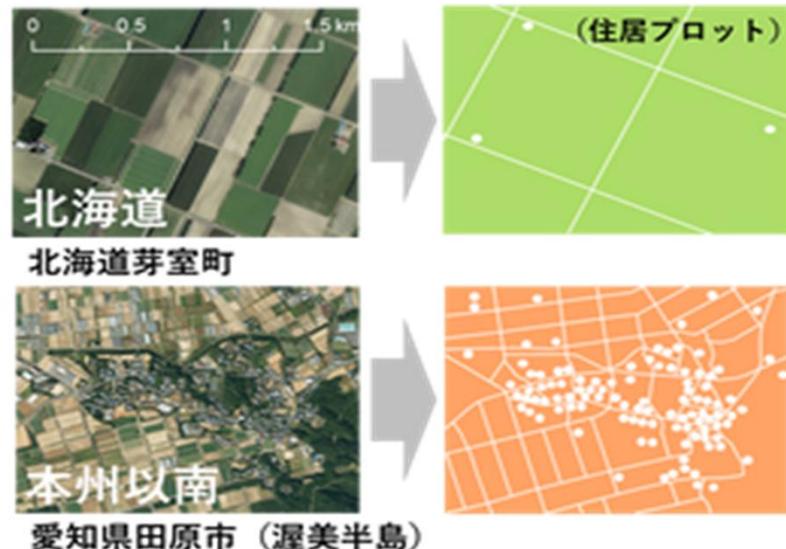
【マクロ(都市間)の視点】

最寄都市間距離は本州以南の
2~3倍



【ミクロ(集落内)の視点】

集落内居住は
散在・散居形態
が9割



人口減少が進む中で定住環境を維持するには、時間・距離を縮める**ネットワークの強化とデジタル技術の活用**が必要です。さらに、積雪寒冷の厳しい気候、激甚化・頻発化する自然災害、海溝型地震への対応として**国土強靭化**を急ぐ必要があります。

計画の目標



計画期間: 2024年度からおおむね10年間

近年の社会環境の変化、北海道のポテンシャル等を踏まえ2050年の長期を見据えて、
北海道開発を効果的に進めていきます。

目標1

「我が国の豊かな暮らしを支える北海道
～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道」

目標2

「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造
～**生産空間の維持・発展**と強靭な国土づくり」

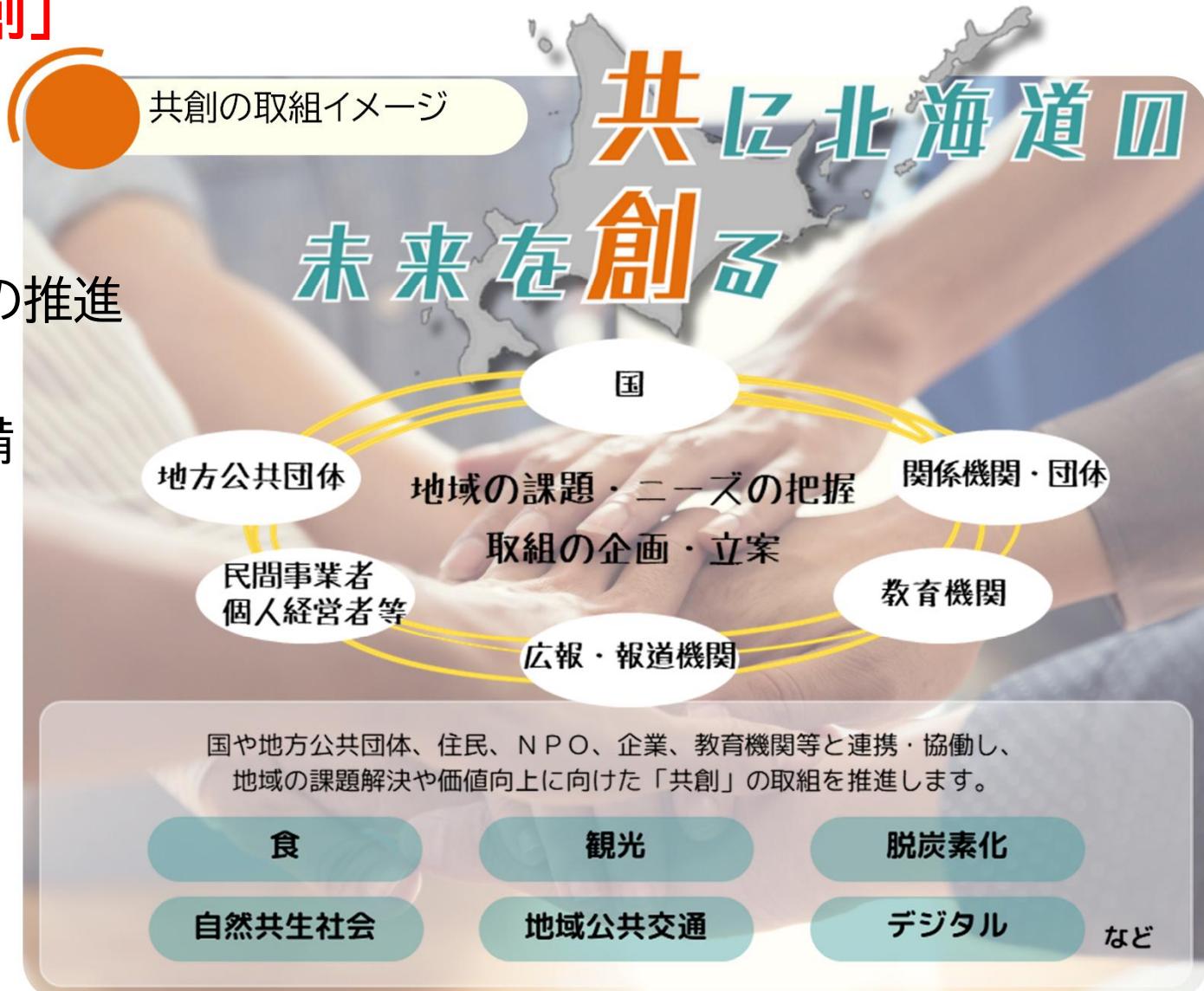
○ 計画の実効性を高めるための方策

官民の垣根を越えた「共創」

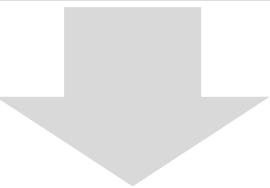
フロンティア精神の再発揮

社会変革の鍵となるDX・GXの推進

戦略的・計画的な社会資本整備



釧根地域の産業の人材確保を推進



地域経済活性化により釧根地域＝生産空間が維持・発展



釧根地域＝生産空間がポテンシャルを最大限発揮

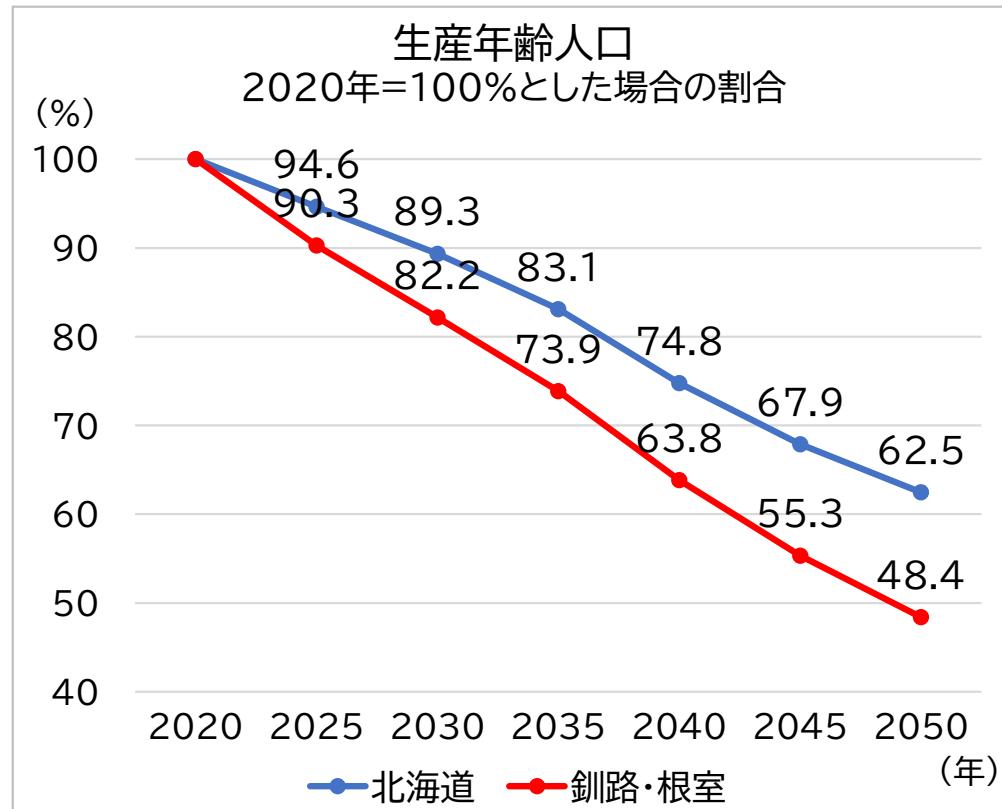
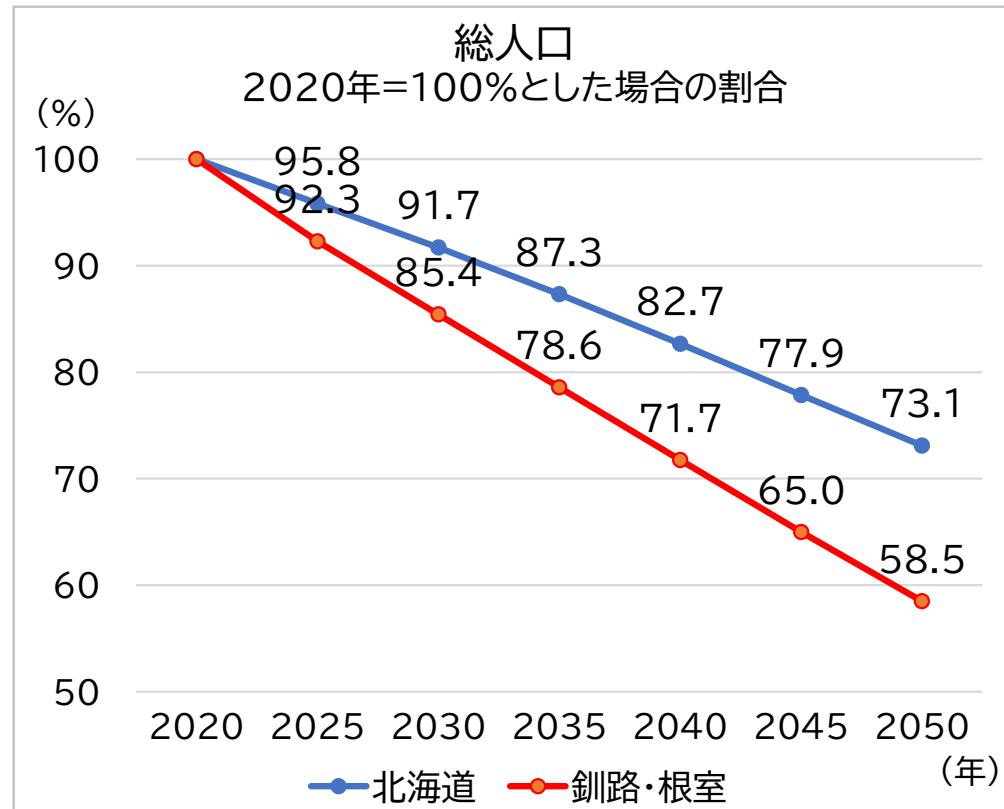


釧根地域が我が国の課題解決に貢献！

地域の現状と課題

生産空間の維持・発展には、そこに人が「住み続ける」ことが必要ですが、

- 地域の方々から、建設業の人手不足が深刻化し、将来の災害対応や除雪対応等への影響を懸念しているとの意見
- 地元企業等からは、運輸業等でも人手不足が深刻という意見があり、地域産業の多くが人手不足となっています



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」より釧路開発建設部作成

管内の建設、観光、運輸関係者からヒアリング

人材確保に向けて、外国人労働者の活用やDXの推進等の取組に加えて、他に何か考えられないか検討するため、管内関係者からヒアリング



免許や経験が無くても、**やる気のある人**に来て欲しい



ガイド業のみで生活できる人は少数で、**兼業している人が多い**



観光バス運転手は、**閑散期の冬に沖縄へ出稼ぎ**に行っている



他業種との兼業でも構わないが、**雇用形態**をどうしたら良いか分からぬ



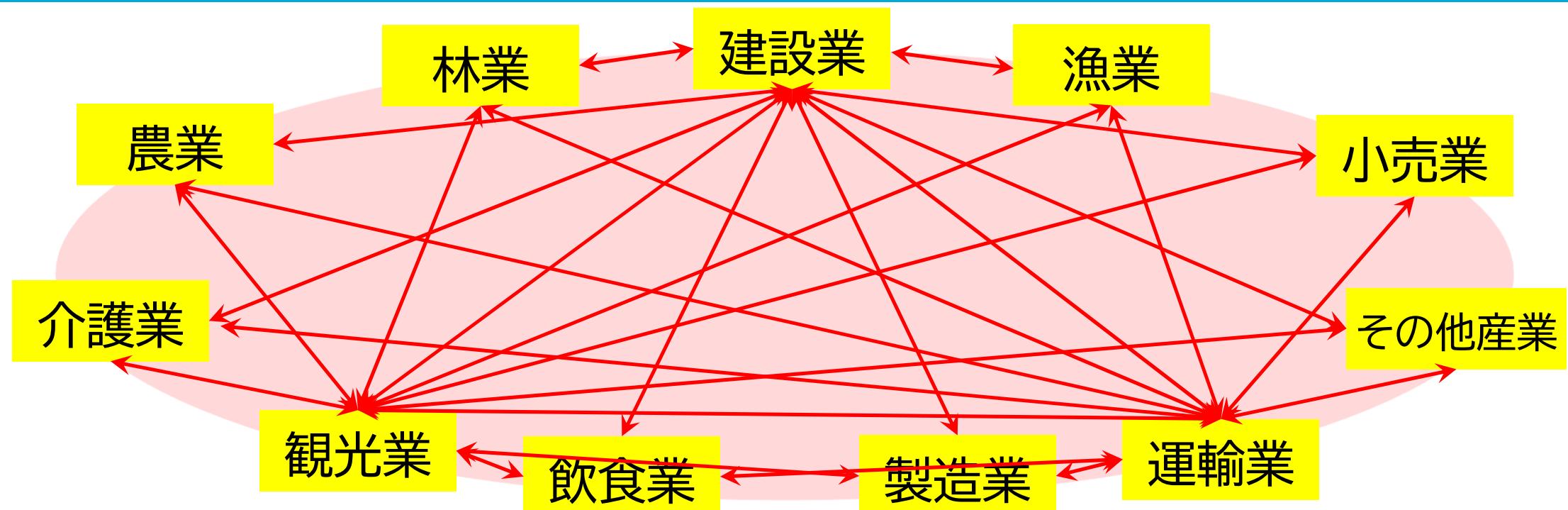
異業種の企業を集めて、**人材確保に向けたマッチング**の機会を作ってほしい



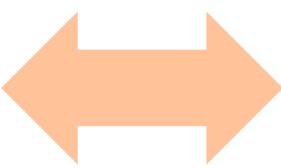
長期的な解決策は、**地域の人材をいかに活用するか**

地域産業間の連携による多様な働き方、地域内外の人材活用を検討

産業間連携による人材確保のイメージ



運輸業等



人材を補完



建設業(除雪オペレーター等)

- 副業・兼業等により産業間で人材を補完し、持続的な人材確保を実現
- 地域産業間の交流促進による地域経済活性化

人材確保に向けた取組内容

- 各種イベント等における建設業を始めとする地域産業の魅力PR
 - 地域の企業や働き手に向けたセミナーの実施等により、人材確保に関する各取組を情報共有
 - 地元教育機関へのフィールド提供等を通じた教育支援 等
- これらについて、関係機関による**釧根人材確保共創チームを結成し、検討を開始**
また、釧路・根室地域雇用ネットワーク会議等とも連携

地域雇用ネットワーク会議

(事務局)

釧路総合振興局、根室振興局

(構成員)

釧路・根室公共職業安定所

釧路労働基準監督署

釧路・根室教育局

管内市町村

管内商工会議所・商工会 等

就業支援、人材定着支援、企業説明会支援、キャリアカウンセリング、労働相談支援、多様な働き方の就労相談支援 等



- ・業種を超えた協業
- ・人材確保ノウハウ提供
- ・多様な働き方への支援
- ・若者の地域就職支援
- ・雇用のミスマッチ防止 等

管内小・中・高等学校・大学

インターン、現場見学会、運転体験会、企業説明会、出前講座 等

釧根人材確保共創チーム

(事務局)

釧路開発建設部

(構成員)

釧路運輸支局

釧路総合振興局、根室振興局

(一社)釧路建設業協会

釧根地区バス協会

釧根地区ハイヤー協会

(一社)釧根地区トラック協会

釧路港運協会、道東倉庫協会

釧路観光連盟、知床ねむろ観光連盟

インターン、現場見学会、運転体験会、企業説明会、出前講座、多様な働き方の検討・提示、移住・定住支援 等

本日のセミナーは、共創チームによる取組のキックオフ

- 産業間連携の促進
- 人材確保の取組の情報共有
- 釧根地域で働く魅力を地域内外にPR

人口減少時代における
持続可能な人材確保の実現